

## 新聞社偏向報道等のランク付け他

JJ1SXA/池

「READJAPAN」(モノクロ九月号、晋遊舎)に面白い記事が発表された。

…この調査は専門家がチームを組んで「偏向」の度合い、特定の団体の代弁ぶり、売国奴、上から目線など 10 件のチェックポイントを精査してランク付けした…

矢張りと言うべきか？ワースト1位、2位は、東京新聞、朝日新聞です。

続いて地方紙の、北海道新聞、琉球新報、沖縄タイムズが続くのは想定内、次には、全国紙の毎日新聞、これも想定内。

巷で言われる通りの調査結果だ、全国紙のワースト3は、東京新聞、朝日新聞、毎日新聞。(ちなみに、東京新聞の政治部長高田昌也は民主党の岡田克也の実弟)

地方紙のワースト3は、北海道新聞、琉球新報、沖縄タイムズ、偏向報道は、国民をミスリードし、国の存亡に関わる。

ベスト10は、北国新聞、読売新聞、産経新聞、四国新聞、日本経済新聞、静岡新聞、下野新聞、徳島新聞、山陽新聞、秋田魁新報。

全国紙の読売新聞、産経新聞、日本経済新聞を押さえて、地方紙の北国新聞が堂々の第1位だ、北国新聞は、石川県金沢市に本社を置く、株式会社北国新聞社が発行する地方紙である。

創設者は赤羽萬次郎氏で、「公平を性とし、誠実を体とし、正理を経とし、公益を緯とす。北国新聞は超然として、党派外に卓立す」を創刊理念とするとしている。

1893年創刊時は、自由民権運動華やかな時代、言論を党利党略の道具としてきた政論新聞が大多数の中で、公正、公平の立場を宣言し、北陸の言論界に近代ジャーナリズムの幕開けを告げ、そのまま現代に引き継がれているようです。

ワースト上位の新聞社は、爪の垢でも煎じて飲めと言いたい、時の政権を批判するのは結構だが、基本を、国益を損じ無いに置いてもらいたい、視点を間違えるなど言いたい、朝日新聞の捏造記事、慰安婦問題、南京大虐殺問題で、今、日本国と日本国民が如何に苦しめられていることか。

南京大虐殺問題の捏造記事を書いた本多勝一は、今、「週間金曜日」なる雑誌を主宰しているが、徹底的に左翼の、佐高信、落合恵子、宇都宮健児等が編集委員として執筆している。

原発反対、秘密保護法反対、集团的自衛権行使容認反対等で、国会前で声を上げている者がいる。

このような宇都宮健児なる人物が都知事にならなくて良かったと胸撫で下ろしたのは、私だけでは無いだろう、左翼知事は、美濃部亮吉だけでもう結構だ。

新聞の偏向報道記事に洗脳されないよう気を付けるのは、国民の責務だは、大袈裟では無い。

(3.Aug,2014 記)